

カネ美食品株式会社

2025年2月期  
決算説明会

証券コード：2669  
(東証スタンダード)

本資料に記載されている今後の業績見通しおよび各情報などは、現段階における入手可能な事項と、当社が十分合理的であると判断した事項に限って記載を致しております。今後起こり得る各要因によって、当社の今期計画の予定及び業績が著しく異なってくる可能性も有り得ますので、その点を踏まえてのご参考資料として頂ければ幸いです。

※資料内においては「株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス」を「PPIH」と記載しております。

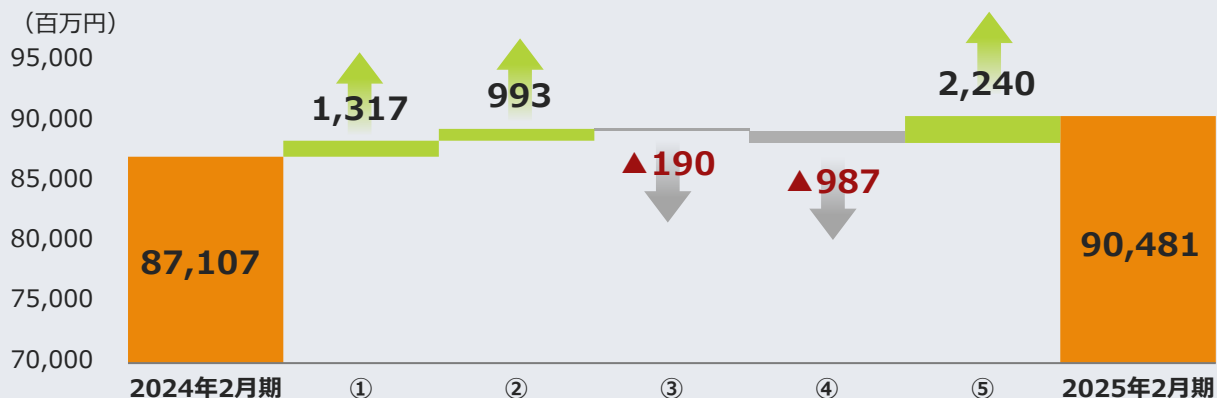
# 2025年2月期 決算概況

(単位：百万円)

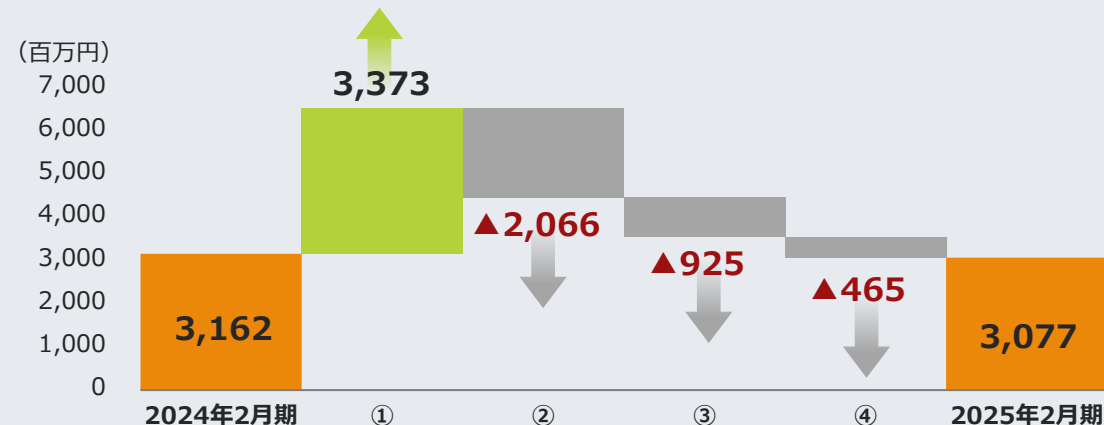
	2024年2月期		2025年2月期		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	87,107	100.0	90,481	100.0	103.8
テナント事業	43,763	50.2	45,883	50.7	104.8
外販事業	43,344	49.8	44,597	49.3	102.8
営業利益	3,162	3.6	3,077	3.4	97.3
テナント事業	1,890	2.2	2,132	2.3	112.8
外販事業	1,271	1.4	945	1.0	74.3
経常利益	3,215	3.6	3,108	3.4	96.6
当期純利益	1,854	2.1	1,948	2.1	105.0
1株当たり当期純利益 (円)	191.73	—	201.33	—	—

(注) 売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

## 売上高



## 営業利益



2024年2月期		87,107百万円
テナント	① 新設店舗による売上増加	1,317百万円
	② 既存店舗による売上増加	993百万円
	③ 業態転換および閉店による売上減少	▲190百万円
外販	④ CVS部門の売上増加	▲987百万円
	⑤ その他部門の売上増加	2,240百万円
2025年2月期		90,481百万円
増減額		3,373百万円

2024年2月期		3,162百万円
① 売上高の増加		3,373百万円
② 仕入高の増加		▲2,066百万円
③ 人件費の増加		▲925百万円
④ その他経費の増加		▲465百万円
2025年2月期		3,077百万円
増減額		▲84百万円

# 月次売上高 前年比推移

Kanemi

(単位：%)

		2025年2月期													
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期累計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	通期累計
全社合計		107.2	106.9	106.9	107.2	104.2	104.0	105.6	102.7	104.4	105.8	103.1	102.9	96.1	103.8
テナント事業	合計	103.5	102.2	102.7	106.3	102.8	106.0	104.0	105.4	105.1	109.4	105.0	105.8	102.8	104.8
	既存合計	101.3	99.5	99.8	103.8	100.2	103.6	101.5	102.8	102.3	106.5	102.6	102.7	99.4	102.1
	PPIHグループ店舗	102.1	99.6	99.9	104.3	100.3	104.2	101.7	103.1	102.0	106.6	102.2	102.5	99.2	102.1
	その他店舗	98.3	98.8	99.6	101.4	100.0	100.6	100.4	101.7	103.6	106.0	104.6	103.7	100.3	102.0
外販事業	合計	111.0	111.5	111.2	108.1	105.6	102.1	107.3	100.2	103.7	102.7	101.0	99.6	89.4	102.8
	既存合計	111.0	111.5	111.2	108.1	105.6	102.1	107.3	100.2	103.7	102.7	101.0	99.6	89.4	102.8
	ファミリーマート	101.1	101.4	103.9	101.5	99.9	96.5	100.7	94.2	97.8	100.8	94.3	91.3	81.1	97.1
	その他	161.3	164.6	143.7	136.6	130.1	125.0	137.1	124.1	127.4	108.6	123.6	127.5	117.3	125.6

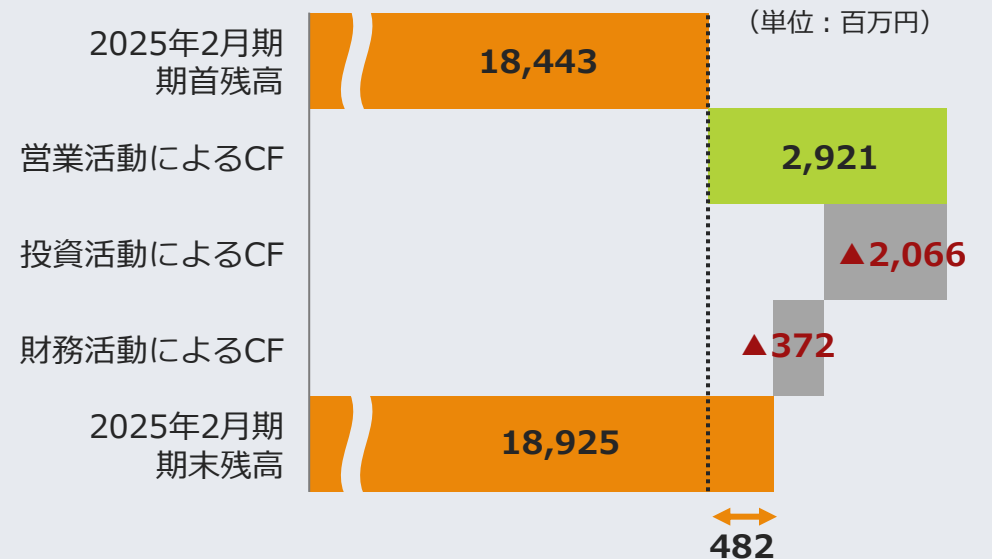
# 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2024年2月期	2025年2月期	増減
<b>流動資産</b>	<b>25,125</b>	<b>25,405</b>	280
現金及び預金	18,443	18,925	482
売掛金	5,889	5,500	▲ 389
たな卸資産	516	505	▲ 11
その他	275	474	199
<b>固定資産</b>	<b>10,813</b>	<b>12,003</b>	1,189
有形固定資産	9,076	10,058	982
無形固定資産	88	57	▲ 30
投資その他の資産	1,648	1,886	237
<b>資産合計</b>	<b>35,938</b>	<b>37,408</b>	1,470
<b>流動負債</b>	<b>8,075</b>	<b>7,955</b>	▲ 119
<b>固定負債</b>	<b>355</b>	<b>368</b>	12
<b>負債合計</b>	<b>8,431</b>	<b>8,324</b>	▲ 106
<b>純資産合計</b>	<b>27,507</b>	<b>29,083</b>	1,576
<b>負債・純資産合計</b>	<b>35,938</b>	<b>37,408</b>	1,470
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>76.5</b>	<b>77.7</b>	1.2
<b>1株あたり純資産 (円)</b>	<b>2,843.13</b>	<b>3,005.61</b>	162.48

(単位：百万円)

	2024年2月期	2025年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,148	2,921
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,260	▲ 2,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 401	▲ 372
現金及び現金同等物の増減額	1,486	482
現金及び現金同等物の期首残高	16,956	18,443
現金及び現金同等物の期末残高	18,443	18,925



(単位：百万円)

	2024年2月期	2025年2月期	
	実績	実績	主な設備投資の内容
テナント事業	323	273	新設、改装および店舗設備の更新等
外販事業	776	2,020	設備の更新および増強等
その他	246	17	設備の更新等
<b>合計</b>	<b>1,347</b>	<b>2,311</b>	

テナント事業 店舗概要			2024年2月期	2025年2月期				
業態	ブランド	期末店舗数	出店	閉店	業態転換(出店)	業態転換(閉店)	改装	期末店舗数
ユニー 店舗	総合惣菜	Kanemi	130		1		17	129
	寿司専門	寿司御殿	26			1		25
	おむすび専門	むす美御殿	0			1		1
	洋風惣菜	K-STAGE (ケイステージ)	12	1				13
UDリテール 店舗	総合惣菜	Re'z deli (リーズデリ)	51					51
	寿司専門	寿司御殿	2					2
	唐揚専門	とりから御殿	1					1
その他 店舗	総合惣菜	Kanemi	9					9
		Re'z deli (リーズデリ)	3	5				8
		e'z mart (イズスマート)	3	1				4
		ease deli (イズデリ)	4					4
	寿司専門	寿司御殿	1					1
		eashion	38	2			1	40
	洋風惣菜	eashionBOWL	1		1			0
		eashion fun	1		1			0
外食	寿司御殿	2					2	
<b>合計</b>		<b>284</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>290</b>



## 新規出店

業態			開店日	店舗名	所在地
株式会社ドン・キホーテ	リーズデリ	総合惣菜	2024年3月13日	リーズデリ成増店	東京都板橋区
ユニー株式会社	K-STAGE	洋風惣菜	2024年3月22日	K-STAGE一里山店	滋賀県大津市
阪急阪神百貨店	eashion	洋風惣菜	2024年3月27日	eashion阪神にしのみや店	兵庫県西宮市
株式会社長崎屋	リーズデリ	総合惣菜	2024年4月2日	リーズデリ綾瀬店	神奈川県綾瀬市
株式会社長崎屋	リーズデリ	総合惣菜	2024年4月16日	リーズデリ長野店	長野県長野市
株式会社長崎屋	リーズデリ	総合惣菜	2024年4月23日	リーズデリ伊勢上地店	三重県伊勢市
株式会社京阪百貨店	イーズマート	総合惣菜	2024年4月25日	イーズマート京阪守口店	大阪府守口市
ユニー株式会社	むす美御殿	寿司専門	2024年4月25日	むす美御殿 北方店（※）	岐阜県本巣郡北方町
株式会社近鉄百貨店	eashion	洋風惣菜	2024年6月26日	eashion近鉄あべのハルカス店	大阪府大阪市阿倍野区
株式会社長崎屋	リーズデリ	総合惣菜	2024年6月28日	リーズデリ浜松可美店	静岡県浜松市中央区

## 閉店

業態			閉店日	店舗名	所在地
株式会社 錦糸町ステーションビル	eashion	洋風惣菜	2024年3月31日	eashionBOWL錦糸町テルミナ2店	東京都墨田区
ユニー株式会社	寿司御殿	寿司専門	2024年4月19日	御殿 北方店（※）	岐阜県本巣郡北方町
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年9月16日	赤池店	愛知県日進市
日本商業施設株式会社	eashion	洋風惣菜	2025年1月15日	eashion fun SHIBUYA道玄坂通店	東京都渋谷区

（※）業態転換による出店・閉店を示しております。

## 改装

業態			改装日	店舗名	所在地
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年3月1日	アピタ島田店	静岡県島田市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年3月15日	アピタ蒲郡店	愛知県蒲郡市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年4月19日	多治見店	岐阜県多治見市
株式会社 JR東日本クロスステーション	eashion	洋風惣菜	2024年4月24日	eashion東京グランスタ店	東京都千代田区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年4月26日	上和田店	愛知県岡崎市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年7月5日	アピタ江南西店	愛知県江南市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年7月19日	アピタ横浜綱島店	神奈川県横浜市港北区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年8月9日	アピタ新潟西店	新潟県新潟市西区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年9月13日	アピタ富山東店	富山県富山市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年9月27日	大治店	愛知県海部郡大治町
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年9月27日	アピタ松阪三雲店	三重県松阪市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年10月11日	アピタ鳴海店	愛知県名古屋市緑区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年10月11日	アピタ高崎市	群馬県高崎市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年11月1日	清水山店	愛知県名古屋市緑区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年11月22日	アピタ緑店	愛知県名古屋市緑区
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年11月29日	アピタ伊賀上野店	三重県伊賀市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年12月6日	福釜店	愛知県安城市
ユニー株式会社	Kanemi	総合惣菜	2024年12月6日	アピタ高蔵寺店	愛知県春日井市

# 2026年2月期 業績予想

# 2026年2月期 業績予想、配当について

Kanemi

(単位：百万円)

		2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期予想	前期差額	
業績 見通し	売上高	87,107	90,481	<b>87,400</b>	▲3,081	
	営業利益	3,162	3,077	<b>3,080</b>	3	
	経常利益	3,215	3,108	<b>3,110</b>	2	
	当期純利益	1,854	1,948	<b>1,750</b>	▲198	
	テナント 事業	売上高	43,763	45,883	<b>47,700</b>	1,817
		セグメント利益	1,890	2,132	<b>2,450</b>	318
	外販事業	売上高	43,344	44,597	<b>39,700</b>	▲4,897
		セグメント利益	1,271	945	<b>630</b>	▲315
配当	1株当たり配当額(内1株当たり中間配当額)(円)	38(19)	38(19)	<b>38(19)</b>	0(0)	
	配当性向(%)	19.8	18.9	<b>21.0</b>	2.1pt	

# 2026年2月期 設備投資計画

(単位：百万円)

	2025年2月期	2026年2月期	
	実績	計画	主な設備投資の内容
テナント事業	273	322	新設、改装および店舗設備の更新等
外販事業	2,020	1,442	設備の更新および増強等
その他	17	0	設備の更新等
<b>合計</b>	<b>2,311</b>	<b>1,765</b>	

## テナント事業 店舗概要

業態	ブランド	2025年2月期 第2四半期 (中間期)	2026年2月期					期末店舗数	
		期末店舗数	出店	閉店	業態転換(出店)	業態転換(閉店)	改装		
ユニー 店舗	総合惣菜	Kanemi	129		1			5	128
	寿司専門	寿司御殿	25						25
	おむすび専門	むす美御殿	1						1
	洋風惣菜	K-STAGE (ケイステージ)	13		1				12
UDリテール 店舗	総合惣菜	Re'z deli (リーズデリ)	51						51
	寿司専門	寿司御殿	2						2
	唐揚専門	とりから御殿	1						1
その他 店舗	総合惣菜	Kanemi	9						9
		Re'z deli (リーズデリ)	8	6					14
		e'z mart (イーズマート)	4						4
		ease deli (イーズデリ)	4						4
	寿司専門	寿司御殿	1						1
	洋風惣菜	eashion	40	1	2			1	39
外食	寿司御殿	2						2	
<b>合計</b>		<b>290</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>293</b>	

# 2025年2月期 総括

## 全社方針

### 方針

# 深化・深耕

既存の事業・業務の徹底見直し

### 全体施策

- 既存事業と業務を徹底的に見直し、ボトムアップアプローチで体質改善を図る
- 組織を細分化、ポストを増やし意欲ある者の登用で組織のボトムアップを図る

### 具体的な施策

構造改革

人財育成

## 全社施策の振り返り

### 営業組織の再編

- 専門性を活かした施策が実現
- 収益力向上
- 取引先ごとの対応強化

### リスクマネジメント強化

- リスクマネジメント体制が強化され、迅速な課題解決が実現
- 品質管理やコンプライアンス、社内の安全・安定性を一段階向上

### 商品政策の強化

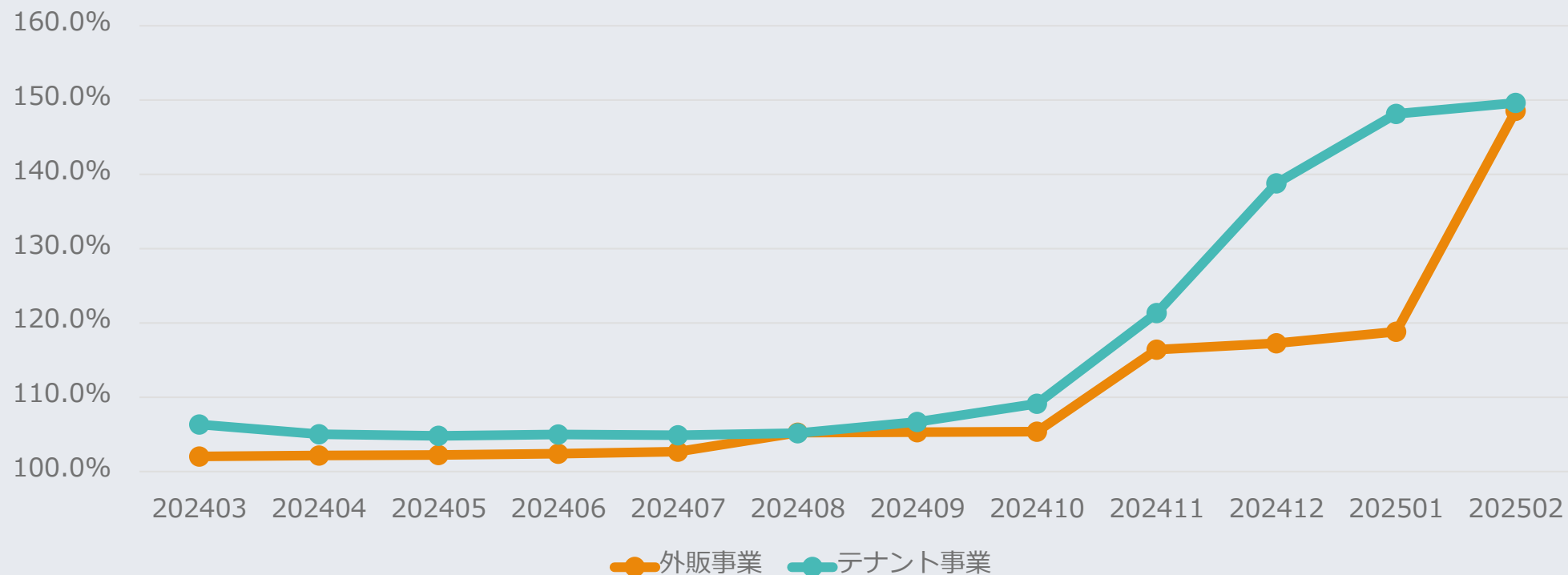
- 立地特性に応じたMD施策
- 内製化と新規MDによる事業展開が加速

### 全社の連携向上

- 部門間の連携が強化
- 横断的なプロジェクトが推進



## 米の単価推移（前年同月比）



### 原材料価格高騰対策

- **テナント事業**：商品スペックの変更や売価変更を行い原価高騰に対応
- **外販事業**：生産性向上を図りつつスペック変更・納価変更を実施

### ピザMD



総合惣菜店舗にてMD展開

### 中華御殿MD



総合惣菜店舗にてMD展開

### 専門MDの展開

- グリル・ピザMD 専用什器で店内調理のハンバーグやピザなど提供
- 中華御殿MD 本格的な町中華の味を提供
- 既存店の売上拡大に寄与

### 冷凍設備投資



新設された冷凍設備



冷凍ドリア



付け合わせ惣菜

### 新たなカテゴリ生産体制の構築

- 店舗の効率化・廃棄ロス削減を目的とした仕掛品などの冷凍内製品の製造
- 外部売上獲得の為の商品開発

# 2026年2月期 施策

## 全社方針

### 方針

# 未来への共創

## 進化から創造へ

### 前期からの課題

- 店舗配置の最適化
- 両事業の連携強化
- 商品提案力・開発スピード
- 業務の標準化
- リスクマネジメントのさらなる強化
- 戦略的人財育成強化

### 全体施策

外販事業の粗利構造改善

テナント事業の再ブランディング

製造・物流領域の効率化

現場との一体運営

### オペレーションの見直し

業務・製造効率向上

### 内製化率の向上

人時生産性の向上・省人化対策

### 新規MDの開拓

既存店の売上拡大・収益力向上

#### グリルMD



顧客ニーズに合わせたMD展開

#### 内製化商品



銀鮭西京味噌焼き

### 収益改善

- 業務を見直し店舗運営の標準化および製造効率の改善を図る
- 内製化商品の積極活用により、より出来立てを適時に提供できる体制構築
- 既存店の底上げを図るMDの開拓

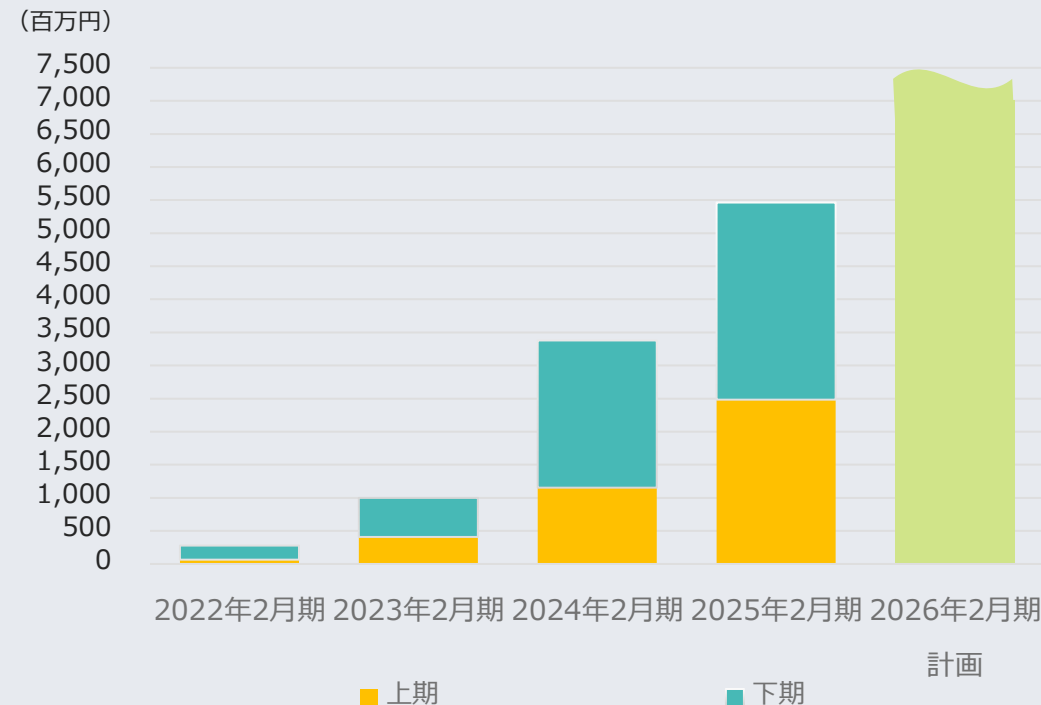
### PPIHグループ納品拡大

関東・関西 4 工場を専用化  
カテゴリ・アイテム数の拡充

### 冷凍を含む内製化の推進

袋井ファクトリーの拡張・素材からの加工  
京都南工場の設備投資・冷凍アイテムの拡充

### PPIHグループ納品額の推移



### 納品拡大と生産性向上

- PPIHグループへの納品拡大に対応
- 内製化の推進による店舗の生産性向上
- 素材から加工し利益の最大化

# サステナビリティ



## 女性活躍 (2025年2月28日現在)

### テナント事業

- 営業部長 1名
- 店長 21名

### 外販事業

- 事務長 (課長職) 1名
- 班長 1名

### その他

- 課長級職 10名

※2025年3月より新たに女性部長1名選任

## 食品ロスへの取り組み



### 出さない取り組み

- セントラルキッチンの活用最大化
- ロングライフ商品 (チルド・冷凍) の開発製造
- POSデータを活用した製造計画の最適化

### 捨てない取り組み

- 生ごみ (飼料・肥料・メタン発酵・消滅)
- パン耳 (飼料・パン粉)
- 廃油 (飼料・バイオ燃料・石鹼等)



## 太陽光発電の設置



- 屋上を利用して太陽光発電を開始
- CO2排出量削減に寄与

# 參考資料

2025年2月28日 現在

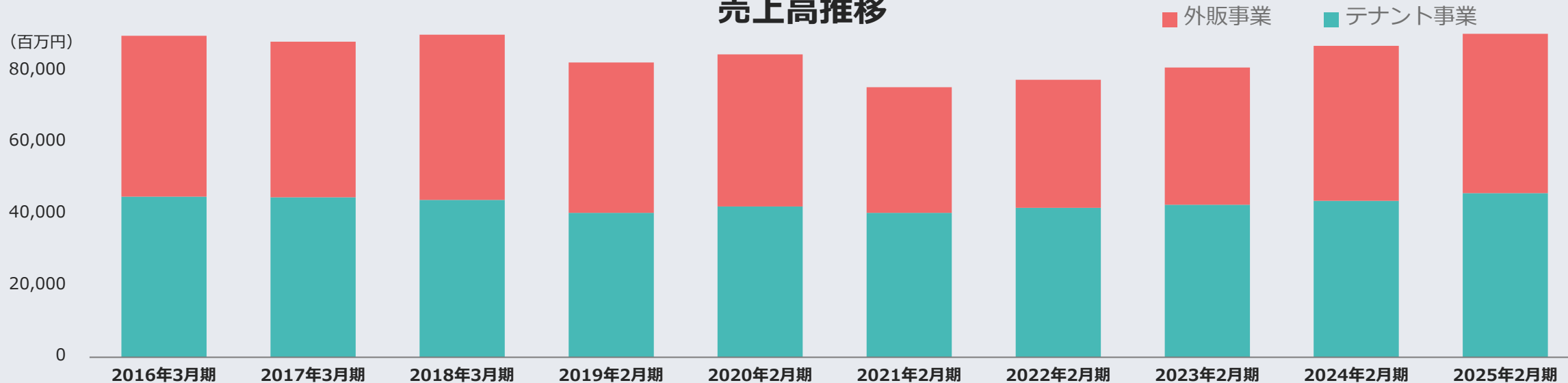
## 会社概要

本社所在地	〒458-0815 名古屋市緑区徳重三丁目107番地	店舗数/工場数	テナント 290店舗 外販 12工場 1ファクトリー
創業	1969年11月	資本金	20億 2 百万円
設立	1971年 3月	上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード 2669
代表者	代表取締役社長執行役員 寺山 雅也	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

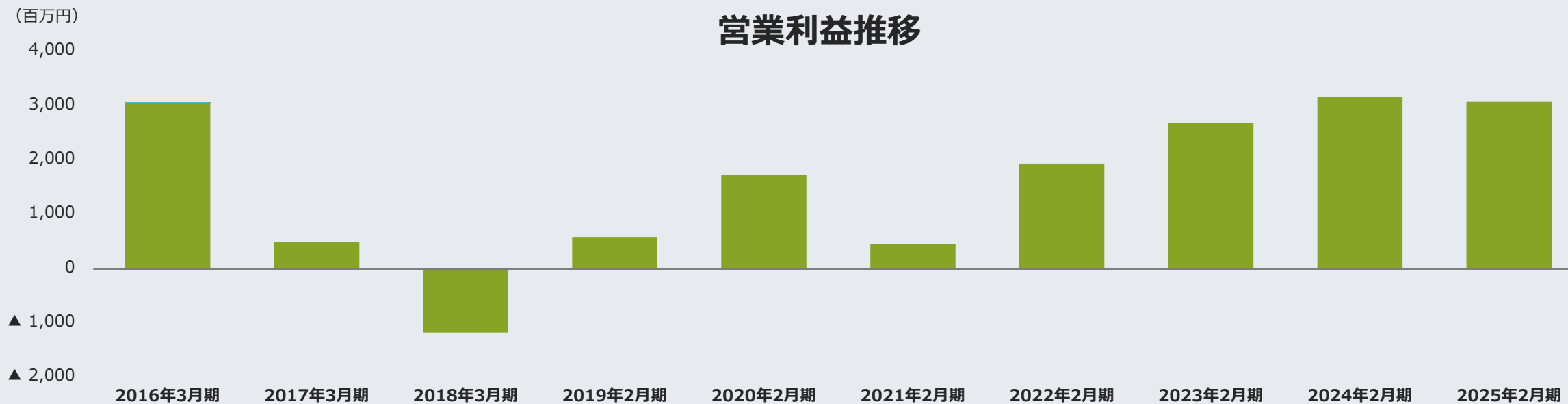
## 沿革

1971年 3月	名古屋市中川区に「カネ美食品株式会社」（資本金650万円）を設立	2017年 7月	ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社による当社株式の追加取得により、同社の子会社となる
1972年 7月	名古屋市南区に「本社」を新設・移転	2019年 4月	ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社の保有する一部株式を株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスへ譲渡したことにより、両社が筆頭株主となる
1980年 3月	サークルK（ユニー株式会社事業部）の1号店開店により、弁当の納品を開始	2020年 7月	株式会社ファミリーマートの保有する一部株式を株式会社日本アクセスへ譲渡したことにより、株式会社ファミリーマートは筆頭株主およびその他の関係会社に非該当となる
1993年 8月	名古屋市天白区中坪町に「本社」及び「配送センター」を新設・移転	2022年 4月	株式会社東京証券取引所の新市場区分化に伴い、スタンダード市場へ上場市場を移行
2000年10月	株式公開（店頭登録）	2022年 8月	株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスによる当社株式に対する公開買付けの結果、その公開買付けに応募した株式会社ファミリーマートは当社の主要株主に非該当となる
2013年 9月	名古屋市緑区徳重に「本社」を新設・移転	2023年 3月	株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスと業務提携契約の締結

## 売上高推移



## 営業利益推移



## テナント事業

- ・ スーパーマーケットを中心に、百貨店や駅ナカなどへ出店
- ・ 東海地方を中心に関東、関西に店舗展開
- ・ 地域や周辺環境に合わせ、柔軟な対応ができるよう様々な業態やブランドを展開

### 【出店先】

■スーパーマーケット、総合ディスカウントストア	246 店舗
ユニー（アピタ・ピアゴ・ユーストア等）	170 店舗
UDリテール（MEGAドン・キホーテUNY）	54 店舗
長崎屋等（MEGAドン・キホーテ）	8 店舗
その他（アオキスーパー、オオゼキ等）	14 店舗
■百貨店・駅ナカ・駅ビル等	42 店舗
百貨店	19 店舗
駅ナカ・駅ビル	21 店舗
その他（商業施設等）	2 店舗
■外食店舗	2 店舗
寿司御殿	2 店舗



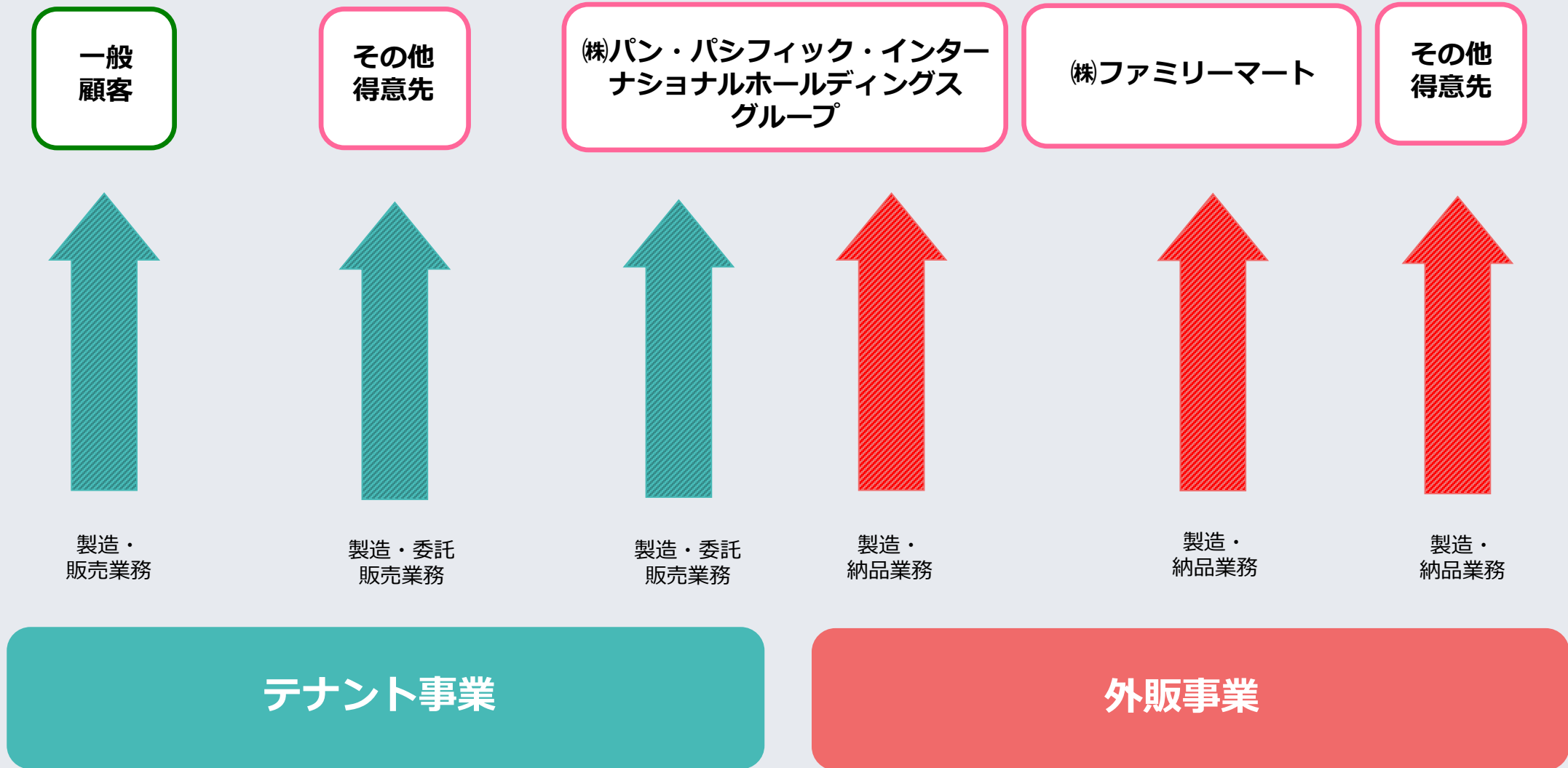
## 外販事業

- ・ 東海地方を中心に関東、関西等に13工場を配置
- ・ コンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり・パスタ等を製造
- ・ 各社スーパー等へ納品する弁当、おにぎり等を製造
- ・ 鉄道会社が運営するコンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり等を製造
- ・ 地域の生活協同組合から、主に夕食宅配弁当の製造を受託

### 【納品先】

■コンビニエンスストア	
ファミリーマート	3,742 店舗
■鉄道系コンビニエンスストア	
JR東日本クロスステーション（NewDays・KIOSK）	553 店舗
■宅配関連	
コープデリ、おおさかパルコープ、コープあいち 等	全 8カ所の生活協同組合
■スーパー関連	
ユニー、UDリテール、長崎屋、ドン・キホーテ 等	619 店舗







総合惣菜店舗  
**Kanemi** (138店舗)

寿司・弁当・サラダなど幅広く取り扱う総合惣菜店舗。  
店舗内での調理を基本とし、作りたてをお客様にご提供することに  
こだわるとともに、お客様とのコミュニケーションを大切にした店  
舗運営に努めています。

アピタ・ピアゴ・ユーストア内 (129店舗)



アオキスーパー内 (3店舗)

バロー内 (1店舗)

コープいしかわ内 (3店舗)

コープあいち内 (1店舗)

ドン・キホーテ内 (1店舗)



総合惣菜店舗  
**Re'z deli(リーズデリ)** (59店舗)

「MEGA ドン・キホーテ UNY」および「MEGA ドン・キホーテ」に出  
店する新たな総合惣菜店舗ブランド。

①納得のいく値頃感ある商品の提供 (reasonable)

②季節感の提供 (seasonable)

③カネ美がこだわる美味しさの提供 (delicious)

をコンセプトとし、より一層お客様にご満足いただくため、「毎日値頃  
価格」をテーマに美味しいものを毎日お値頃価格で提供し、地域一番の  
食卓応援団として、魅力ある店舗づくりに努めています。

MEGAドン・キホーテUNY内 (51店舗)

MEGAドン・キホーテ内 (8店舗)





総合惣菜店舗

e'z mart(イーズマート) (4店舗)

総合惣菜と洋風惣菜を融合させた新しいスタイルの店舗として、首都圏のスーパーマーケットや駅ビルに出店しています。幅広いニーズにお応えできる柔軟な展開を図ります。



東急ストア内 (1店舗)

アトレ内 (1店舗)

錦糸町テルミナ内 (1店舗)

京阪百貨店 (1店舗)



総合惣菜店舗

ease deli(イーズデリ) (4店舗)

首都圏の小規模スーパーマーケット内に出店する総合惣菜店舗。幅広いアイテムを取り揃えお客様に安心してご購入いただける店舗づくりを進めています。



オオゼキ内



## 寿司御殿

寿司専門店舗 **寿司御殿** (28店舗)

本物の寿司の味を手軽に家庭で楽しんでもらいたいという思いから、テイクアウト専門店として、主にアピタ・ピアゴ店内にテナント展開しています。また、店舗環境に応じて、焼鳥や弁当を提供する店舗も展開しています。



アピタ・ピアゴ内 (26店舗)

バロー内 (1店舗)

MEGAドン・キホーテUNY内 (2店舗)

## 唐揚専門店舗 とりから御殿 (1店舗)

※他、寿司御殿との併設店6店舗

唐揚げグランプリ金賞受賞のノウハウを生かした、唐揚げの専門店。MEGAドン・キホーテUNY店舗やアピタ店内にテナント展開しています。



MEGAドン・キホーテUNY内

## おむすび専門店舗 むす美御殿 (1店舗)

おむすびをもっと気軽に手に取ってもらいたいという思いから専門店として展開。富山県産コシヒカリ・オリジナルブレンド塩・愛知県産海苔など素材に加えて「できたて」にもこだわりました。



アピタ内



洋風惣菜店舗

eashion(イーション) (40店舗)

eashion (イーション) とは、eat (食べる) + fashion (ファッション) をかけあわせた造語で、その名が表すとおり、品揃えはもちろん、空間づくりにもこだわった洋風惣菜店舗です。主に関東地方の百貨店や駅ビル、駅ナカ、商業施設への出店を進め利用する方に合わせて、スタイリッシュに仕上げています。

百貨店内、駅ナカ、商業施設等



洋風惣菜店舗

K-STAGE(ケイステージ) (13店舗)

大型スーパー向けの洋風惣菜店舗として、デパ地下の明るくおしゃれな雰囲気と味を演出・提供することをコンセプトに、“栄養のためだけの食事ではなく、食卓を彩る”という発想のもと斬新なメニューをお手頃な価格にて展開しています。

アピタ、ピアゴ内



旬の活きのいい最高級のネタを使ったお寿司をお値打ちにご提供しています。

店舗名	回転寿司・割烹料理	
	寿司御殿 竹の山店	寿司御殿 有松店
店舗の様子	  	  
所在地	愛知県日進市岩崎町竹の山37-862	愛知県名古屋市緑区境松二丁目510
開店年月	2002年11月開店	2009年10月開店
総席数	100席	87席

コンビニエンスストア

ファミリーマート  
(納品店舗数：3,742店舗)



株式会社ファミリーマート

NewDays・KIOSK  
(納品店舗数：553店舗)



株式会社 J R 東日本クロスステーション  
( J R 東日本駅構内)

鉄道系コンビニエンスストア

スーパー関連

主にPPIHグループ向け  
(納品店舗数：619 店舗)



↑ ドン・キホーテの総菜ブランド「偏愛めし」

宅配関連

生活協同組合  
(全8カ所)



↑ 夕食宅配弁当の一例  
お弁当コース(左上)、おかずコース(右下)

全国13カ所に配置された工場から、コンビニエンスストアやスーパーマーケット、各生活協同組合に商品を供給しています。納品先に合わせた適正規模の工場を配置し、24時間、365日休むことなく稼働しています。



## 米飯

弁当

おにぎり

寿司



## チルド製品

弁当

寿司

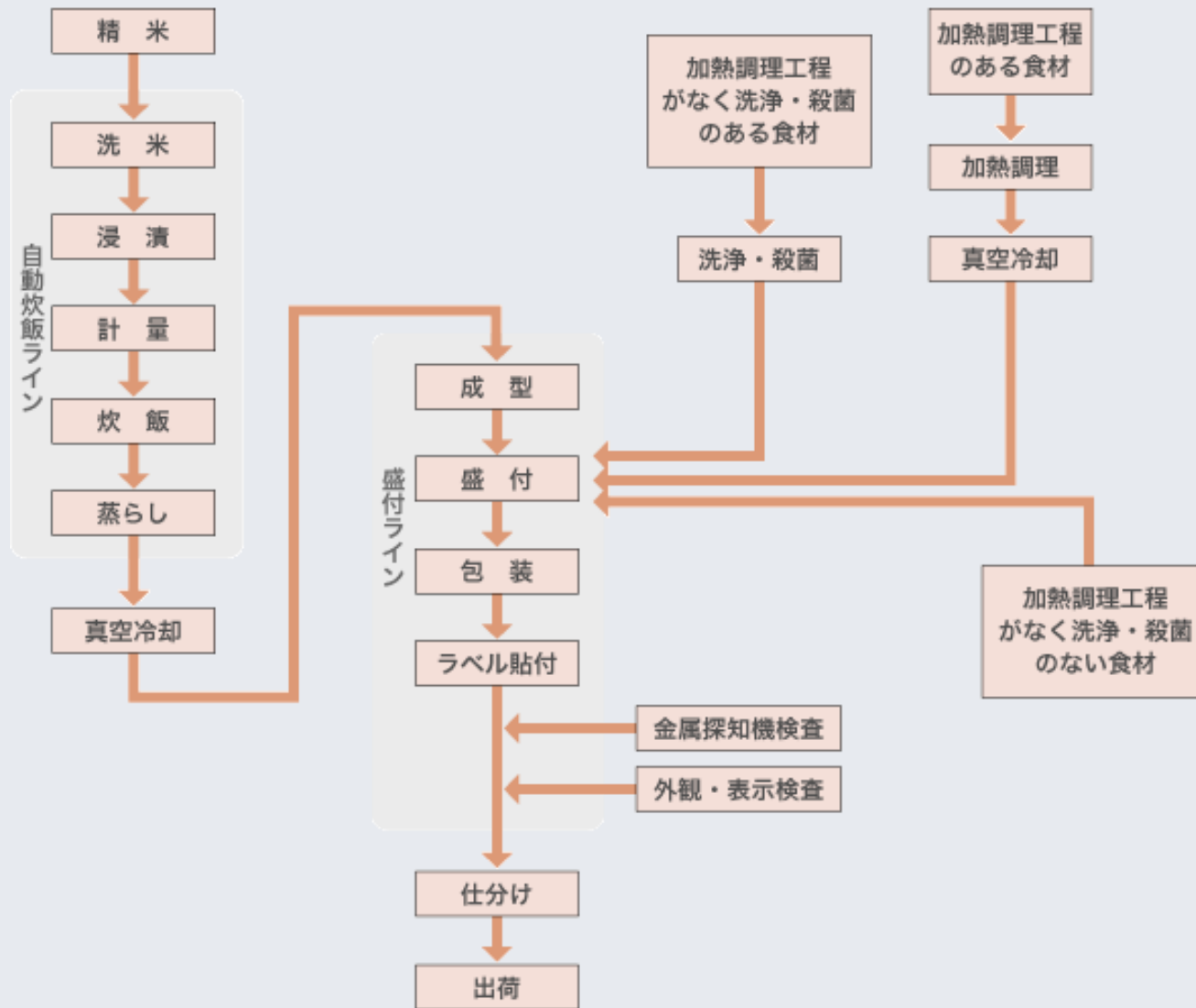
パスタ

調理パン

サラダ

惣菜





衛生管理方法	全工場においてHACCPの手法（食材入荷から製造・出荷まで管理ポイントを監視、記録）に基づく衛生管理を行っており、常に安全、安心な商品づくりを心がけています。
品質・衛生レベル管理	全工場に検査室と品質管理担当者を配置し、品質の確認や従業員教育を行っています。
7Sの推進	7S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣・洗淨・殺菌）を推進し、衛生管理体制の基礎づくりを目的として取り組んでいます。
管理体制	各工場内に製造確認カメラを設置し、安全性の強化や抑止力の向上に取り組んでいます。



## HACCPとは

HACCPは1960年代に米国で宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理の手法。この方式は国連の国連食糧農業機関（FAO）と世界保健機構（WHO）の合同機関である食品規格（CODEX）委員会から発表され、各国にその採用を推奨している国際的に認められたものです。

HA (Hazard Analysis) 危害分析（微生物、異物など）	食品の製造工程（原材料から最終製品に至るまでのすべての工程）で発生する恐れのある微生物汚染等の危害要因について調査・分析する
CCP (Critical Control Point) 重要管理点（殺菌工程、包装工程など）	製造工程の段階で、より安全性が確保された製品を得るために、特に重点的に管理すべきポイント

## 従来<sup>1</sup>の製造方法との違いは

これまでの食品の安全性への考え方は、製造環境を清潔にしたなら、安全な食品が製造できるであろうとの考えの下、製造環境の整備や衛生の確保に重点が置かれてきました。そして、製造された食品の安全性の確認は、主に最終製品の抜き取り検査（微生物の培養検査等）により行われてきました。（製品のすべてを検査することはできません。）HACCP方式は、これらの考え方や方法に加え、原料の入荷から製造・出荷までのすべての工程において、危害を予測し、防止（予防、消滅、許容レベルまでの減少）するための重要管理点を特定して、そのポイントを継続的に監視・記録し、異常が認められたらすぐに対策を取り解決するため、不良製品の出荷を未然に防ぐことができるシステム。

【農林水産省HPより抜粋】

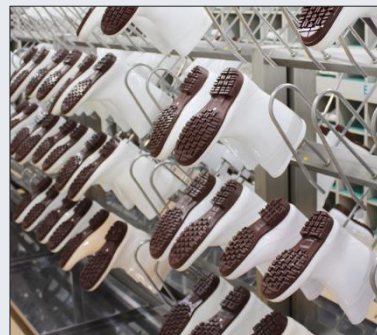




## ● 衛生管理の徹底、異物混入の防止



製造現場に持込可能な物を明確にし、不必要な物や私物の持込を禁止。



使用する長靴は靴底も含め、汚れや綻びがないかチェックして使用。



エアシャワーにて作業着に付いた毛髪やゴミなどを吹き飛ばす。



作業場入場まで数回にわたり、粘着ローラーにて全身のゴミを除去。タイマーを活用し確実に取り除けるよう時間をかけ、念入りを行う。



手洗いはマニュアルに沿って行う事を徹底。消毒は手洗い後だけでなく、作業中にも実施。手袋交換時や製造アイテムの切替時など、その都度入念に行う。



使用する食材は、加熱時や冷却時に中心温度を測り、加熱・冷却が基準値に達しているかを確認。美味しく安定した品質を確保。

## ● フードディフェンスの強化



### 【 製造確認カメラの増設・入替 】

カメラ台数の増設や新型への入替などにより、管理・確認体制を強化

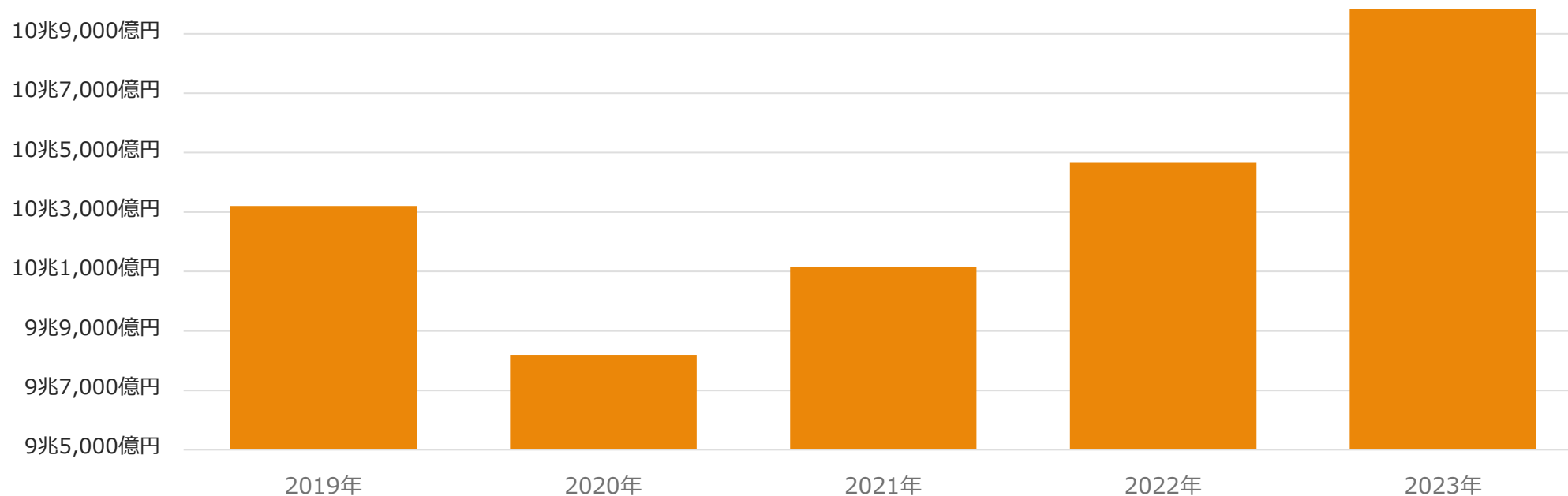
### 【 作業着(帽子)の名札の改良 】

製造確認カメラにて認識しやすいよう、従来より名札のサイズを大きくし、漢字表記だけでなく、頭部の右側にカタカナ表記を使用。

また、帽子に直接圧着加工しているため、金具の名札と違い、作業中に外れるリスクを排除。

出所：社団法人日本惣菜協会 2024年版惣菜白書

## 惣菜市場規模の推移



	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
惣菜市場規模	10兆3,200億円	9兆8,195億円	10兆1,149億円	10兆4,652億円	10兆9,827億円
対前年比	100.7%	95.2%	103.0%	103.5%	104.9%

惣菜市場は3年連続3%以上の成長となりコロナ禍前を超える市場規模に拡大

出所：社団法人日本惣菜協会 2024年版惣菜白書

	内食	中食（惣菜）	外食	食市場計
2013年	33兆1,831億円	8兆8,962億円	24兆99億円	66兆892億円
2022年	37兆7,462億円	10兆4,652億円	20兆970億円	68兆3,084億円
13年－22年比	113.7%	<b>117.6%</b>	83.7%	103.3%

- 食市場全体の中でも特に惣菜市場の成長は著しく、10年前と比較すると117%を超えており、高齢化・核家族化・女性の社会進出などライフスタイルの変化を反映して、外食が減少し惣菜の利用が大きく増加していると考えられる。
- 当社は、この国内の中食市場内におけるシェアの拡大を図り、企業価値の向上を目指す。

## IRに関するお問合せ先

カネ美食品株式会社 経営企画部

〒458-0815 愛知県名古屋市緑区徳重三丁目107番地

TEL:052-879-6116

E-mail : [press@kanemi-foods.co.jp](mailto:press@kanemi-foods.co.jp)



**Kanemi**

〒458-0815 愛知県名古屋市緑区徳重三丁目107番地

TEL:052-879-6116 E-mail : [press@kanemi-foods.co.jp](mailto:press@kanemi-foods.co.jp)

<https://www.kanemi-foods.co.jp/>